



3

2006
March

■発行/
長野県人権啓発センター
〒387-0007 千曲市屋代字清水260-6
TEL 026-274-2306 FAX 026-274-2309
長野県企画局ユマニテ・人間尊重課
〒380-8570 長野市大字南長野字福下692-2
TEL 026-235-7106 FAX 026-235-7389
URL <http://www.pref.nagano.jp/>
E-mail humanite@pref.nagano.jp

“みんなちがって みんないい” 「人権フェスタ2005in南信州」開催

県民の皆様にも人権問題を「協働で」、「楽しく」、「身近に」考えていただくイベント、「人権フェスタ 2005 in 南信州」(主催: 県、長野地方法務局、飯田市などで構成する同実行委員会)が、17年12月11日(日)、飯田市の飯田文化会館及び飯田人形劇場において盛大に開催されました。その様子を紹介します。



基調講演 & パネルディスカッション

井出孫六さんを迎えての基調講演及び3名の方の体験発表を通じて、中国帰国者の方々が抱える問題や同じ地域に住む私たち一人ひとりがどのように接していけばいいのかについて理解を深めました。



左からコーディネーターの蘭信三さん(京都大学国際交流センター助教授)、発表者の野中章さん、中島多鶴さん、大橋春美さん、助言者の井出孫六さん

演劇 (市民劇団:演劇宿)

地元の市民アマチュア劇団「演劇宿」が、中国帰国者の夜間日本語学級を描いた作品「私が私と出会う時」を上演。12月10日、11日の2日間で約320人が鑑賞しました。プロの演出家の指導を受けた迫真の演技で中国帰国者が抱える問題を観客の皆さんに訴えかけました。



音楽&パフォーマンス

音楽やパフォーマンスを通じて人権問題を考えてもらおうと、シンガーソングライターの美咲さんのコンサートや新潟のお笑い集団「NAMARA」によるコントなども行われました。



(美咲さん)



(NAMARA)



このほか、障害者関係の実践団体の皆さんによる、日頃の活動成果の展示・販売や人権パネルの展示なども行われ、訪れた皆さんは南信州での一日、様々な形で人権問題に触れました。



参加者の声～アンケートから～

【講演・パネルディスカッションを聞いて】

- 日本の過去の歴史が分かりました。
- 特に大橋さんの自分の体験を通じての思いと問題提起には目を開かされました。
- 私たちの生き様を問われる問題提起でした。軽々しく人権擁護が大事だと言っている自分が恥ずかしい。

【演劇を見て】

- 中国帰国者問題を考えさせられ、とても良かった。
- 今もこの劇が迫真のリアリティを持つことが残念でなりません。
- 迫力があり、心に訴えるものがあった。
- “目”で見られると、きちんと頭に入ってきて、とても分かりやすいです。



みんなですすめる人権尊重プログラム 支援事業(平成17年度)を活用した事業の紹介

「みんなですすめる人権尊重プログラム支援事業」

～新たな発想の人権尊重の意識を高めるための事業に補助率3分の2以内(上限50万円)で助成～

精神科病棟を撮影した写真展及び精神障害者が描いた絵画の展示等



STS(障害者自律支援てくてく委員会)(松本市)

薬物依存者の体験談、講演会の開催



長野ダルク(上田市)

障害児の福祉機器展示及び相談会の開催



長野県小児リハビリテーションネットワーク(安曇野市)

聴覚障害者への接客研修の開催



NPO法人松本市聴覚障害者社会参加支援協会(松本市)

親子の関わりに関する講演会等の開催



子供の心身共に健康な成長を願う親の会(松本市)

知的発達障害者の楽団による演奏・交流会の開催



ケ・セラ(松本市)

精神障害者による絵画、編み物等の作品展示



はんど inはんど(上松町)

環境など身近な問題をテーマとした外国籍県民との交流会の開催



NPO法人長野県NPOセンター(長野市)

知的障害者等を対象とするホームヘルパーの研修会の開催



NPO法人くれよん(飯田市)

長野県では、「みんなですすめる人権尊重プログラム支援事業」により、県民との協働による人権啓発活動を推進しています。

18年度も実施予定ですので、多くの県民の皆さまからのご応募をお待ちしております。

高齢者、障害者等を対象とした森林散策会の開催



いいやまブナの森倶楽部(飯山市)

被差別部落に関する古文書の資料収集及び学習会等の開催



松本人権推進古文書研究会(松本市)

放課後、休日等を活用した障害児との交流会の開催



NPO法人CoCo(辰野町)

教職員等を対象とした「子どもへの暴力防止プログラム」研修会の開催



CAPLしなの(岡谷市)



人権啓発センター入館者数

5万人
突破!!

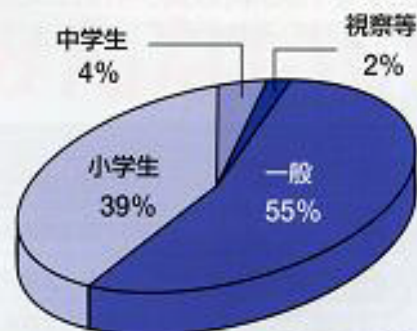


長野県人権啓発センターは、平成12年12月6日の開館以来5年を過ぎ、平成18年1月19日、総入館者数が5万人を超えました。県内だけでなく、県外からも多くの皆様にご利用いただいております。入館者からいただきました様々なご意見、ご要望も参考にさせていただきながら、引き続き、人権意識高揚のための研修及び情報発信の場として多くの皆様にご利用していただけるよう取り組んでまいります。

入館者数

(平成18年1月末現在)

区分	一般	小学生	中学生	視察等	合計
人数	27,701	19,407	1,766	1,192	50,066
割合	55%	39%	4%	2%	100%



展示コーナーの紹介

新聞記事の展示コーナー



人権啓発センターでは、開館以来、人権問題に関して報道された新聞記事を切り抜き、「展示」「保存」しています。来館された皆様には、最近の人権関係の新聞記事を詳しくご覧いただけます。

新聞記事は、「女性に関する問題」「子どもに関する問題」「高齢者に関する問題」などの人権課題別に整理してあります。また、以前の記事もファイルしてありますので、必要に応じてご利用いただけます。



【来館者の感想】

- 素晴らしいと思ったのは、新聞の切り抜きコーナーです。すごく参考にもなりました。必要になったらぜひ利用させて下さい。
- センターの「新聞記事の切り抜き展示」は、「人権問題で、日頃の自分の眼の向け方」を反省させられました。



人権啓発センターをご活用ください

■展示室

様々な人権問題に関する展示や立体映像装置、また人権問題に向き合ってきた方々の証言映像をご覧ください。

■人権啓発ビデオ・映画フィルム・パネルの貸し出し

啓発ビデオ186本、映画フィルム68巻、パネルセット2組(1セット24枚)をそろえています。貸し出しは無料ですが、送料のみ負担していただきます。ご利用をお待ちしております。

■最近そろえたビデオ

作品名	作成年度	企画	時間(分)	対象	テーマ
旅立ちの日に(アニメーション)	17年	北九州市、北九州教育委員会、北九州市人権問題啓発推進協議会	40	一般、中学校、高校	女性(男女共同参画)、障害者(社会参加)
壁のないまち	17年	兵庫県、(財)兵庫県人権啓発協会	35	一般	障害者(雇用、IT・IT+社会)
共に生きる～中国残留邦人たちは今～	16年	長野県	53	一般	中国帰国者(歴史、現状)
私たちの人権宣言	16年	法務省、(財)人権教育啓発推進センター	50	小学校	子ども、人権全般
エールを贈るバス	16年	共和教育映画社	29	一般、小学校	障害者(車椅子の少女)
セツちゃん	16年	東映(株)	34	一般、小学校、中学校	子ども(いじめ)
ソーテ サワサワ	16年	長野県同和教育推進協議会	34	一般	外国人(入店拒否、偏見)

■講師の派遣

人権尊重の意識高揚を図るため、センターの人権啓発推進員が市町村、団体等が開催する学習会・研修会において、人権問題についての講演を承ります。講師への謝礼は無料で、事前申し込み(予約)が必要です。

● 受講された方々の声

- 差別意識に係る歴史的な変遷から、日常生活や最近の社会的動向を踏まえた、人権意識の大切さについて分かりやすくご講演いただきました。「共に生きる社会」をつくっていくことが重要であるという講師の言葉が強く印象に残っています。
- 和を重んじる時代から、個の主張を重んじる時代に変わりつつあることを、実例により認識できました。
- 部落差別がつけられた経緯について、今までの学習で学んできたものと違う視点からの知識が深められた。



長野県人権啓発センター

〒387-0007 千曲市屋代字清水260-6 長野県立歴史館内
TEL 026-274-2306 FAX 026-274-2309
ホームページ <http://www.pref.nagano.jp/kikaku/danjo/center/center.htm>

■開館時間

午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日、振替休日にあたる場合は火曜日)
祝日の翌日(日曜日にあたる場合は開館)
12月28日～1月3日
(ほかにも休館する場合があります。)

■入館料

無料

■交通案内

しなの鉄道★屋代駅、屋代高校前駅から徒歩25分
長野電鉄河東線★東屋代駅から徒歩20分
長野自動車道・上信越自動車道★更埴I.Cから車で5分